

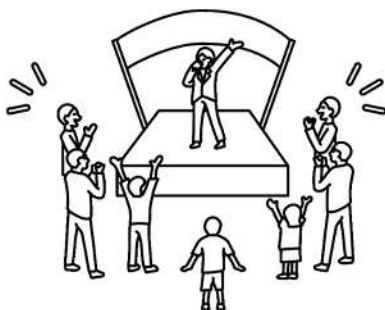
目指せ！感動区役所、いきいき地域、人とつながる市民センター

感動区役所



訪れた市民が新しい市政を体感し、職員一人ひとりの笑顔と心のこもった対応、空間の心地よさに感動する区役所、さらには地域にも感動をお届けする **“おせっかい区役所”**を目指します。

いきいき地域



いくつになっても活躍できる、学生生徒も企業団体も地域に貢献できる、お互い様が支え合う、いつまでも地域がいきいきする、新たな時代の担い手づくりを地域と共に進めます。

人とつながる市民センター



子どもから高齢者まで誰でも気軽に立ち寄れる、ここに来れば新しい出逢いと彩りと安らぎの暮らしへの扉が開く、人とのつながりを大切にする市民センターづくりを地域と共に進めます。

重点項目

八幡東区役所

感動区役所



おもてなしの区役所づくり

笑顔の職場づくり

新しい市政を体感

A(1) 接遇と空間改善

A(2) 内部事務の効率化・見直し

A(3) 地域の活力を高める情報発信

A(4) 証明書コンビニ交付率向上等のPR強化

A(5) おせっかい区役所

いきいき地域



持続可能な地域づくり

B(1) 新たな地域の担い手を創出

C(1) 新たな地域の仕組みづくり

人とつながる 市民センター



市民センター機能の周知

A(6) みんなの市民センター

市民センターの運営体制確立

C(2) 市民センターの運営体制のあり方の
検討・見直し

感動区役所

現 状

職員の区役所改善提案 ⇒アイデア116件

■ハード

看板・案内板
照明
トイレ
花壇
飾り付け
フोटスポット
キッズコーナー
など

■ソフト

挨拶
市民対応
心構え
夜景や歴史のPR
市民の作品展示
Z世代対象の取組
など

Road to 感動区役所

区役所職員 4 チーム

設備
チーム

施設
チーム

彩発見
チーム

接遇
チーム

- ・明るく彩りある区役所空間の創造
- ・おもてなしマニュアル、スローガン策定 など

R7から始動

おせっかい区役所

- ・八幡東区まちづくり方針の実現に向けて、**4つの視点**に基づいた具体的な取組を様々な地元団体に提案
- ①共感を生むストーリー
- ②戦略的な発信
- ③マネタイズ④体験価値

区役所変革に向けて
地元企業、大学、市民と
協力して取組を推進

新

目指す姿

■来庁した区民が
快適で楽しく
利用できる

■笑顔で帰れる

「あの職員さんにもう
一度会いに行きたい」



■職員も働きやすい
区役所

「役所で働くお父さん
がおしゃれになった」
「役所で働くお母さん
が最近ウキウキしてい
る」

■区役所と地域が
互いに提案しあう

「今度は○○をやって
みよう!」「それでは
こんな方法はどう?」



現 状

□文化資源・観光資源の
魅力が十分に伝わって
いない

- ・単にその情報を提供し、
知識を深めてもらうこと
に留まっている
- ・その価値や魅力が「八幡
の宝物」であると感じら
れるところまで至ってい
ない

□イベントの収益が
考慮されていない

- ・参加料等が適正な価格設
定になっていない
- ・持続的・自律的な活動に
つながっていない



戦略的「おせっかい」4つの視点

①魅力・資源の深掘り

- ・共感を生むストーリー
- ・リブランディング

②戦略的な発信

- ・明確なターゲット
- ・ストーリーで魅せる

③イベントのマネタイズ

- ・適正な価格設定
- ・楽しく稼ぐ

④体験フィールド活用

- ・コト消費を意識
- ・体験の提供側も受け手側も
お互いに満足

例えば祇園まつりなら、

- ①巡行図・山笠の形態など
を写真・動画で深掘りし
SNS掲載
- ②まつりの準備段階から
本番まで継続して発信、
競演会をライブ配信
- ③有料観覧席、オリジナル
デザインのうちわ販売
- ④観光客等へのまつりの
巡行体験

やってみませんか？



おせっかい区役所

いきいき地域

現 状

地域活動の担い手不足

少子高齢化・生活様式の変化

- 町内会加入率の低下
- 役員・委員の高齢化
- 民生委員・児童委員の定員割れ
- 公園愛護会の解散
- 次の世代が育っていない



新しい動き

大学

- ・ゼミ・フィールドワーク（研究）
- ・ボランティアへの関心（就職）

高校

- ・探求学習
- ・ボランティアへの関心（就職・進学）

企業・団体

- ・社会貢献
- ・地域人材の発掘、登用



仕組みを変える

考え方を変える

ex

- ◆ 要件緩和
- ◆ サポート会員制度
- ◆ 出張商店街



マッチングの
仕組みづくり

ex

- ◆ コミュニティデザイン
プロジェクト
- ◆ 学生フォーラム

目指す姿



いつまでも地域がいきいき

- いくつになっても活躍できる
- 新たな地域の担い手を創出
- 多様な参加者を増やす

人とつながる市民センター

現 状

稼働率が低い

- ・市民センター機能への認知度が低い
- ・利用者の固定化
- ・新規利用への敷居が高い

A(6)

市民センター機能の周知

- ・ニーズ調査の実施
- ・情報発信の強化（継続）
- ・魅力ある講座づくり（継続）
- ・職員の市民対応力向上（継続）

事務が煩雑

- ・講座の企画、物品購入事務
- ・館長等の勤怠管理
- ・利用申請の統計事務

R6年度に着手済

市民センターDXの推進

- ・Kintoneやgrafferを活用した管理システムの構築
- ・市民センターへのイントラ端末の導入
- ・使いやすい業務システムの導入

運営体制のねじれ

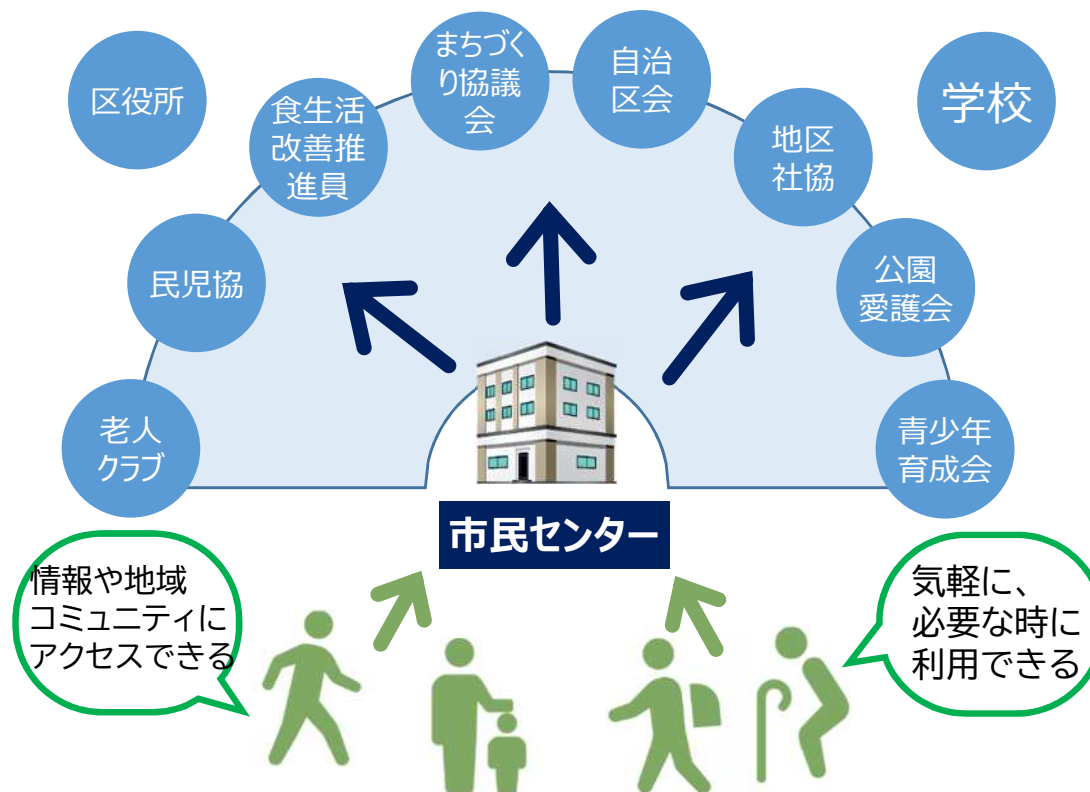
- ・館長と職員の間で直接の指揮命令系統がない
- ・市からの依頼に対応できる適正な人材の確保が困難
- ・市の求める機能に対する体制がとれていない

C(2)

運営体制のあり方の検討

- ・増加する業務に対応できる人材を確保するための委託料の増額
- ・各まち協への実態調査
- ・機能強化に向けた運営方法の検討、協議

目指す姿



▶ まちづくりの活動拠点

▶ 地域の困りごと等のコーディネート機能

地域活動参加への
きっかけづくり

地域のにぎわい
づくり